

## 平成30年度の予算案を修正可決しました

## Q どうして修正したの？

A この予算案はより詳細な審査をするため予算委員会へ付託され、さらにその中の総務文教分科会へ委嘱されました。審査の中で、

「(仮称)北木島駅伝大会」については、昨年6月にも「有森杯北木島小学生駅伝大会」として報告を受け、補正予算で214万円の計上がありました。しかし、開催の経緯や目的が不明瞭で、開催時期や大会参加対象の問題、島の観光事業等の相乗効果等、事業内容の検討が必要との判断から、予算の修正・削除をしました。

その後、10月以降の委員会及び協議会で毎回口頭での報告をいただきましたが、事業に対する委員の要望への回答はなく、予算の議決前から開催の事前準備が行われていました。また、今回も6月の時と同様、予算審査直前の委員会で当日資料が配付されるという、委員が十分な審査できない状況でもありました。

これらのことから、「笠岡応援大使の有森さんの監修をいただく事業としてふさわしい内容にさせていただき、議会も一緒に協力し、市全体で盛り上げる事業になるよう、再度検討を重ねていただきたい。」との意見がありました。

また、「笠岡運動公園50mプール撤去工事」については、昨年10月と11月の協議会で口頭での報告があった後、12月定例会では、当初の有効活用するための最小限の予算から、フットサルコート2面、グランドゴルフ大会用コートを想定した人工芝での多目的広場の構想に基づく大幅な変更の予算計上がありました。この変更しようとする事業内容が市民の求めるものとして十分検討された内容であるかの疑義があり、12月補正予算は修正・削除をしました。

今回の3月定例会に提案された予算は、安全確保のための50mプールの撤去工事となっていました。そもそも昭和49年に設置の笠岡運動公園の市営プールは、使用不可となった50mプールに限らず、25mプール、幼児用プールも老朽化した設備であり、今後の修繕を考慮しても継続使用には困難な状況と思われます。このことから「この際、50mプールだけでなく、老朽化している市営プール全体を考慮した事業として、解体撤去を含め、今後のプール跡の利用について早急に検討すべきではないか。」との意見がありました。

これらのことから「原案を一部修正し、教育費の関係予算2,324万6千円を削除すべきである。」との修正案が委員から提示され、予算決算委員会で採決の結果、賛成多数で修正案を可決し、本会議でも修正可決しました。

